金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

平成 24 年度文部科学省博士課程教育リーディングプログラム採択事業

文化資源マネージャー養成プログラム

「文化」の可能性：観光資源として、アイデンティティの源として

「教室」と「フィールド」を往還しつつ学ぶ

国内外における文化資源継承・活用の「現場」で実践的に学ぶ

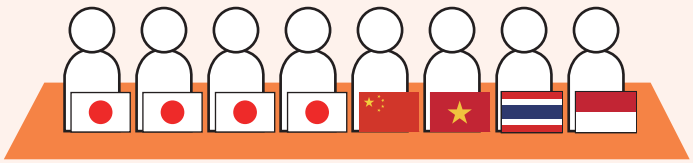
理念と目的　文化資源の可能性を追求

本プログラムは、人類文化の多様性を尊重しつつ、世界各国・各地域で継承されてきた文化資源の将来に向けての意義と有用性を探求し、特定の人びとにとってのみならず人類全体に向けたその活用策を案出し実践する人材、すなわちローカルな文化資源のグローバルな活用を可能にする資源発掘・管理・活用策提案能力を身につけた「文化資源マネージャー」を５年一貫の大学院教育で養成することを目的としています。期待される活躍の場は、文化行政を管轄する中央政府や地方政府、ユネスコを始めとする国際文化機関、博物館、伝統資源を活用する民間企業などです。

プログラムの特色　多文化共生に向けて

■ 同期入学の日本人学生４名および中国・タイ・インドネシア・ベトナムからの留学生４名の国際的チームで、日本国内外での現地研修や現地調査、国際ワークショップを行う。

■ ５年間を通じて、教室と現場を何度も往還しながら文化資源の継承・活用という課題に取り組む実践的なプログラム。



プログラムを支える機関　国内外に広がるフィールド

■ 学内：人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター

■ 海外連携校：中国・北京大学、タイ・チェンマイ大学、インドネシア・バンドゥン工科大学、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校

■ 国内連携機関：金沢市、国立民族学博物館、ユネスコ・アジア太平洋無形文化遺産研究センター

経済的支援　充実した学修環境

■ ５年間を通じてひとり月額 10 万円の奨励金支給（予定）

■ 国内外での現地研修・現地調査・国際ワークショップにかかる旅費・宿泊費支給

プログラムの対象者　求ム、文化資源マネージャーの卵

■ 2013 年４月入学の日本人学生４名を募集します：本研究科博士前期課程５専攻の入学試験合格者、日本人国籍および入学時点で TOEFL iBT 80 点相当の英語能力を有する者

■ 入試出願期間：2013 年１月 18 日（金）～25 日（金）　＊予定

■ 試験日：2013 年２月 14 日（木）・15 日（金）　＊予定

詳細はおってホームページ等に掲載します

金沢大学大学院
人間社会環境研究科
http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp

＜問い合わせ先＞
金沢大学 人間社会系事務部学生課 人文・国際学務係
TEL：076-264-5601
FAX：076-264-5468
E-mail：n-jkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

平成 24 年度文部科学省博士課程教育リーディングプログラム採択事業

文化資源マネージャー養成プログラム

基本カリキュラム

文化資源学を体系的に学修

■ 1・2 年次：本研究科博士前期課程人文学専攻の学際総合型プログラム・文化資源学コースの「文化資源学」科目（下表）最低 22 単位を含め 30 単位以上修得、研究レポートの提出

■ 本研究科博士前期課程人文学専攻文化資源学コース以外、および他専攻在籍の場合：所属するコース・専攻の修了要件を満たした上で、さらに「文化資源学」科目を必修科目含め最低 22 単位履修

学際総合型プログラム 文化資源学関連科目 （＊は必修）	専門基礎科目	文化資源学概論＊	2（単位）
		伝承文化資源学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各 2
		形態文化資源学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各 2
		文化資源情報学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各 2
		文化資源学現地研修＊	4
	専門応用科目	伝承文化資源学演習Ⅰ・Ⅱ	各 2
		形態文化資源学演習Ⅰ・Ⅱ	各 2
		文化資源情報学演習Ⅰ・Ⅱ	各 2
		文化資源学実習Ⅰ・Ⅱ＊	各 2

■ 3・4・5 年次：本研究科博士後期課程の人間社会環境学専攻の科目を最低 16 単位修得し、専攻の課す修了要件を満たした上で学位論文を提出

担当教員

学内外の教員による実践的な協働教育

中村　慎一　プログラム責任者・考古学
鏡味　治也　プログラムコーディネーター・文化人類学
藤井　純夫　考古学
中村　誠一　考古学
宮下　孝晴　西洋美術史
森　雅秀　仏教学・比較文化学
西村　聡　日本文学
岩田　礼　中国語学
西本　陽一　文化人類学
上田　望　中国文学
矢口　直道　東洋建築史
足立　拓朗　考古学
大友　信秀　知的財産法
正木　響　世界経済論
関　雄二　（国立民族学博物館）　考古学・文化人類学
大貫　美佐子　（ユネスコ・アジア太平洋無形文化遺産研究センター）　文化政策
河原　清　（金沢市）　都市政策論
趙　輝　（北京大学）　考古学
Yos Santasombat　（チェンマイ大学）　文化人類学
Dudy Wiyancoko　（バンドン工科大学）　プロダクトデザイン
Lam Thi My Dzung　（ベトナム国家大学ハノイ校）　考古学

金沢大学大学院
人間社会環境研究科
http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp

＜問い合わせ先＞
金沢大学 人間社会系事務部学生課 人文・国際学務係
TEL：076-264-5601
FAX：076-264-5468
E-mail：n-jkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp